

令和4年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1. 観光客や市民等の利用者の健康増進と保養の場の提供に関する事。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関する事。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関する事。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関する事。 5. 露天風呂の施設の提供に関する事。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	10,288	9,194	△1,094
うち利用料金額	2,598	1,292	△1,306
うち指定管理料	7,680	7,897	217
支出合計(B)	10,288	10,092	△196
うち人件費	3,480	4,089	609
収支差(A-B)	0	△898	△898
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	行動制限のない大型連休や青森県お出かけキャンペーンの継続実施、全国旅行支援の開始により、当施設においてもクーポン取扱店の登録やおももり飲食店感染防止対策認証店舗の取得により地域クーポン利用者の利便性を図るとともに定期的なツアー客の受け入れ等売上向上に努めた。しかし、ろ過ポンプの誤作動による休業や、大雨の影響による休業や薬研佐井線が通行止めになるなど繁忙期の売上に影響を及ぼし計画を大きく下回りました。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	14,510	13,356	△1,154
	夫婦かっぱの湯	9,510	4,868	△4,642
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（無） <ol style="list-style-type: none"> 観光客から、露天風呂はきれい、周囲の景観がとても良いとの評価をいただきました。 施設内外の清掃や美化に努め来館者から清潔感があって良いとの評価をいただきました。 通年お風呂の温度管理を徹底し、利用者から「いい風呂だった」との声が多数ありました。 時期によりアブやカメムシ等が発生し害虫駆除に努めるとともに、アブの天敵の模型を作成し随所に設置したら絶大な効果があり観光客に好評でした。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
入浴ポイントカードの実施	19	0	0
収穫祭の実施	0	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出料	バ141・湯39	バ42・湯20	バ14・湯8

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

令和4年度はろ過ポンプの不具合による休業や8月の大雨の影響による休業、薬研佐井線が通行止めになるなど夏休みの帰省時期や紅葉時期の売上に大きな影響を及ぼした。しかしながら、新メニューの開発や、紅葉時期に紅葉の移り替わりを定点で撮影しSNSを活用して広くPRしたことなどが功を奏して自主事業の売上は前年比40%増、入浴者数は前年比19%増となりました。また、通年通して風呂の温度管理に努め特に夏場の高温時期においては、源泉ポンプの調整をしながら風呂の温度調整を行い水道水での加水を抑えた結果、水道料金は昨年比69%減となりました。アブやカメムシ等の害虫駆除を常に心がけ初めてアブの天敵オニヤンマの模型を作成し配置した結果効果があり来場者からも好評でした。今後も誘客促進を図り、利用者が快適に過ごせるよう努力致します。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

令和4年度は指定管理者総合評価にあるとおり、ろ過ポンプの不具合による休業や8月の大雨の影響による休業、薬研佐井線が通行止めになるなど、利用者の増加が特に見込める夏休みの帰省時期や紅葉時期の売上に大きな影響を及ぼした。しかし、年間をとおして徹底した湯温の温度管理に務めたことや、昨年度に引き続きわかりやすい工夫がされた情報発信を行っていた。新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた来客数も回復してきたため、利用促進に向けた情報発信及び施設維持管理を適切に行い、今後とも利用者の健康増進と保養の場を提供していただきたい。